

作成 2021年3月23日  
摂津市議会議員 松本暁彦

令和3年第1回定例会代表質問 ～本会議3日目 2021年3月9日～  
議事録（抜粋）

（自民党・市民の会の光好議員が会派を代表して質問。内容は会派で検討したものである。）

5-1 児童・生徒の学力向上について

**質問の背景**：児童・生徒の学力向上については、会派として学習意欲の向上から家庭学習・読書活動の充実などを提言し、その課題解決に取り組んでいる。令和2年度はコロナ禍での学校臨時休業などの課題がある中で、教育委員会はその対策についてICT機器導入など懸命に取り組まれた。その状況や今後の取り組みについて確認することが求められる。

**質疑概要**：令和2年度においては臨時休業対策のため摂津SUNSUN塾やICT機器の早期導入によるICT教育の充実を図り、学力向上に努め、令和2年度の全国の学力テストにおいて、良い成績となっている。令和3年度はさらに学習意欲向上への取り組み、家庭学習の時間増加・読書活動の充実を図っていくことなどを議論した。

○光好議員

5-1 児童・生徒の学力向上について、令和2年度はコロナ禍での学力向上の取り組みとなりましたが、その総括と、令和3年度の取り組みについてお聞かせ下さい。

（略※）

○箸尾谷教育長

令和2年度の学力向上の取り組みについてのご質問でございます。令和2年度の取り組みのうち、新型コロナウイルス感染症の影響によって新たに実施したものについて述べさせていただきます。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に長期の臨時休業が実施されました。こうした3ヶ月におよぶ臨時休業の影響も踏まえ、教育委員会としては、子供たちの学習の機会をできるだけ保障できるように、高校進学を控えた中学3年生の希望者を対象に、摂津SUNSUN塾の夏季講習・冬季講習を実施いたしました。令和3年度、来年度につきましては、現中学2年生もこの長期の臨時休業の影響を受けていることや、今年度の取り組みが参加してくれた生徒から好評だったことを踏まえ

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

て継続して実施するよう計画しております。

また国のギガスクール構想を受けて、これまでの計画を前倒しして、小中学校全校に高速大容量ネットワークを構築し、1人1台のタブレット端末整備に合わせて、小学校の普通教室に65インチ大型電子黒板を整備し、すでに配備している中学校のプロジェクターとわかりやすい事業づくりを支援して参りました。加えて、教員の指導力の向上に向けた取り組みである事業研究発表会等において、参加人数を制限したりやオンラインを活用したりしながら3密を避けた取り組みを支援してきたところです。

これまでの日々の教育活動に合わせたこうした新たな取り組みの結果、昨年度に引き続き、今年度も本市の小中学生の学力は向上いたしております。具体的には、小学生では今年度の本市学力定着度調査において、算数では2年生を除き全学年で、国語でも1年生、4年生で全国参加者平均を上回っており、全国平均に届かなかった学年でも昨年度より向上しております。

また中学生では、今年度実施されました1、2年生のチャレンジテストにおいて昨年度、国語・数学の最高記録を出した中学1年生が、今年度も2年生で同教科、過去最高を記録するとともに、新たな1年生も過去2番目成績となっています。

こうした成果を踏まえ、教育委員会としましては令和3年度もまた感染状況を踏まえながら、ICT機器を活用したさらなる授業改善などに継続して取り組み、子供たちの学力向上に取り組む学校を支援して参ります。

(略※)

### ○光好議員

児童・生徒の学力向上についてですが、令和2年度は、コロナ禍でもSUNSUN塾の活用やギガスクール構想でのICT導入など、学力向上へしっかりと取り組まれ、そして、令和3年度も継続して行われることを評価致します。

但し、ICT教育においては、タブレット端末使用におけるデメリットも考慮した上で取り組まれるよう、要望致します。

さて、会派としてこれまで学習意欲向上、家庭学習などの学校以外の学習時間と読書活動の充実を提言して参りました。これらについて今後どう取り組まれるのかお聞かせ下さい。

(略※)

### ○北野教育次長

学習意欲の向上や家庭学習の定着に向けた今後の取り組みについてのご質問にお答えいたします。

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

学習意欲の向上に向けては、引き続き自己肯定感や自己有用感を高める魅力ある学校づくりを市内全校で進めるとともに、学ぶことと将来の自分をつなげて考えるキャリア教育を進めて参ります。企業やNPO団体と連携し、社会や企業が抱えている課題を生徒同士で考え、発表するといった体験活動を通して、社会とのつながりを実感させるとともに、なぜ学ぶのかということを生徒自身に考えさせることで、最終的には勉強は自分のためにするものだと気づかせるよう支援して参ります。

また、学力が高いほど、家庭学習時間が長い傾向がございます。令和3年度は、学校が設定する宿題をもとより、興味・関心があることや自主的に苦手な分野などを調べ学習するなど家庭学習が充実できるよう取り組んで参ります。

加えて、読書に親しむことも豊かな心を育む上で大切であります。さらに、子供の学力につながる想像力を高めるためには、発達段階に応じた読書が重要であると考えております。絵本や小説に触れることで想像力を養うとともに、家庭学習の中に読書活動をうまく取り入れ、図鑑などの書籍から得た知識や情報をノートにまとめることなどの読書活動にも取り組み、充実を図って参ります。

(略※)

#### ○光好議員

児童・生徒の学力向上についてですが、今後の取り組みを理解しました。学習意欲向上、家庭学習並びに、読書活動の充実を一層取り組まれることを高く評価致します。

なお、学力課題には就学前教育や、保護者のサポート強化は欠かせません。それを踏まえ、引き続き学力向上に邁進されることを要望致します。

最後に、今後を見据えた学力向上の方向性について、総括的に教育長のお考えをお聞かせ下さい。

(略※)

#### ○箸尾谷教育長

今後を見据えた学力の向上についての問いにお答えいたします。さきほどご答弁申し上げたように、今年度の学力定着度調査から、本市の子ども達の学力は高まってきているものと捉えております。

しかしながら、子供たち自身が、自らの人生を切り開く力をつけるためには、結果としての学力向上だけではなくて、なぜ学ぶのか、何のために学ぶのかという事柄に自分なりの考えをもって、学ぶということに対して意義を自覚し、意欲を向上させることが必要であるという風に考えております。そのためにも、さきほど次長からも説明がありましたけれども、子供たちが、現在の自分の年齢やその成長段階を踏まえ、将来を見据えて社会の中で、自分の役割は何なのか、どのような関わりができるのか

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

を考え、行動できる、そういった力を育てる、いわゆるキャリア教育を推進して参りたいと考えております。

さらに居心地が良く、学ぶ意欲を育む学級づくり、学校づくりには子ども達自身の力に依るところが大きいと考えております。学級や学校の雰囲気最終的に決めるのは、いわゆる目立つ子ども、いい意味でも悪い意味でも目立つ子ども達ではなくて、普段あまり目立たないけれども、学級の多数を占めるいわゆるサイレントマジョリティーに属する子ども達ではないかと考えております。彼らがどのように発信し、行動するかで、その学級の雰囲気が最終的に決定するというふうに考えております。

そういう意味で、学校や地域中で頑張っている子どもたちの姿を、子ども同士だけではなくて、周りにいる大人がしっかりそれを認め、評価してあげる。そういうことで子どもたちの自己有用感を高める魅力ある学校づくり事業、それを通して、自分に自信を持ち、もっと皆と共に頑張っているいい学校を作っていきたい。そういう意欲の向上につなげていきたいと考えております。

この魅力ある学校づくりはこれまでも議会でも紹介して参りましたが、昨年度、一昨年度、第5中学校で取り組みまして、文部科学省からも高く評価を受けた取り組みであります。今年度はその取り組みがですね、他の学校にも広がっておりますけれども、今後は、その質をさらに高めていく指導をしていきたいと考えております。

このようにですね、将来を見据えた時間軸としての縦軸であるキャリア教育と、子供たち同士、家庭、地域を含めた横のつながりの横軸である魅力ある学校づくり。この縦と横の双方から、子供たちをしっかりと育て、皆で学びたいと言う学習意欲の向上を通して、学力向上につなげていきたいと考えております。

(音声データ等より作成)

※当該質問に関係のない他の質問項目の部分は省略しています。

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

<代表質問・項目一覧>

- 1 市民が元気に活動するまちづくりについて
  - (1) 地域コミュニティの活性化について
  - (2) シティプロモーションの推進について
- 2 みんなが安全に快適に暮らせるまちづくりについて
  - (1) 鳥飼まちづくりについて
  - (2) 都市基盤整備について
  - (3) 道路ネットワークの向上について
  - (4) 市民を支える上下水道について
  - (5) 河川防災ステーションの取り組みについて
  - (6) 防災・防犯への取り組みについて
  - (7) 消防・救急救助施策について
- 3 みどりうるおう環境を大切にすまちづくりについて
  - (1) 環境問題について
  - (2) 広域連携などのゴミ処理について
- 4 暮らしにやさしく笑顔があふれるまちづくりについて
  - (1) 新型コロナウイルス感染症対策について
  - (2) 健康寿命延伸の取り組みについて
  - (3) 地域福祉施策について
  - (4) 子育て支援について
- 5 誰もが学び、成長できるまちづくりについて
  - (1) 児童・生徒の学力向上について
  - (2) 中学校給食の取り組みについて
  - (3) 教育環境の改善について
  - (4) スポーツ環境の充実について
- 6 活力ある産業のまちづくりについて
  - (1) ビジネスサポートセンターについて
  - (2) 中小企業支援施策について
- 7 計画を実現する行政経営について
  - (1) 持続可能な行政経営について
  - (2) 人事施策について
  - (3) 横断的な政策課題への対応について